



高木 武志  
日本共産党

**乳幼児医療費助成制度の拡充を**

**問** 全国では所得制限をなくし対象年齢を中学卒業や高校卒業、さらには22歳までへと拡充している。県内では三原市が平成27年7月より中学卒業まで、府中市も平成28年度から中学3年生まで通院・入院ともに助成対象を拡充する。通院の助成対

象が就学前までの自治体は、近隣市町では本市のみで、極めて遅れている。中学卒業までの通院・入院無料化の実現を求める。

**答** この制度は、これまでも県制度に上乘せをし、本市独自に助成対象年齢を拡大している。

子どもの医療費助成制度は、自治体独自で対象年齢を拡大するなど、住む地域によって格差が生じ望ましくない状況と考える。本来国が責任を持って制度を構築すべきで、全国一律の制度の創設を引き続き国に強く要望する。



村井 明美  
日本共産党

**保育料の引き下げと障がい児への保育士加配を**

**問** ①本市の保育料は全国的に見ても高い。保育料引き下げや多子軽減制度の拡充を求める。②本市は全国に先駆け、障がい児の保育に取り組んできた。保育士の加配などを行っているが不十分で、保育現場の実態を把握

し、必要な保育士配置を求める。

**答** ①現在の保育サービスを持続的に提供するには、現行水準での保育料が必要。多子軽減制度は現在、国で所得制限を設け、第1子の年齢条件を廃止する案などが検討されており、動向を注視する。②国の障がい児保育推進事業が一般財源化された2003年度以降は、本市独自の施策として障がいのある児童を受け入れている私立保育所に助成を行っている。引き続き、現場実態の把握に努めながら、本事業を推進する。



川崎 卓志  
市民連合

**交通事故が多発する国道2号神島橋西詰め交差点の対策は**

**問** 国道2号神島橋西詰め交差点における交通事故は、福山西警察署管内で最も多いが、抜本的な対策を。また、神島橋アンダー道路の交差点も事故が多いが改良の考えは。

**答** 当該交差点ではこれまでに警戒標識、大型反射板、カラー舗装、路面表示などの事故防止対策を実施してきた。現在、国土交通省が雨天時のスリップ防止や区画線等が見えやすくなるなどの効果が期待できる排水性舗装およびスプードの抑制を図る路面表示等の工事に取り掛かっており、この対策により効果が上がるものと考えている。

また、神島橋アンダー道路の交差点についても、安全性の向上に向けた工事を本年度中に実施する。



西本 章  
市民連合

**多文化共生センターの設立を検討しては**

**問** 本市にも多くの外国籍市民が居住し、雇用、言葉、教育等の課題がある。多文化共生センターの設立を検討すべきでは。  
**答** 本市では、経済・雇用相談窓口を設け対応しており、言葉の問題では、多言語での外国語版

ニューズレターなどの発行や、日本語教室なども実施している。

総合的な相談窓口については、来年度、国際化推進プランの改正時期を迎えることから、現在、市民意識調査の実施に向けて取り組んでいるところで、その結果や他



日本語教室

市の状況なども参考に、相談窓口の在り方について研究を行う。